

平成30年度 第6期第3回 新潟市新津地区公民館運営審議会 議事概要

---

日 時： 平成30年7月11日（水） 午後3時～4時15分

場 所： 新潟市新津地区公民館 502研修室

出席者： 新潟市新津地区公民館運営審議会 伊藤委員，大泉委員，大沼委員，川瀬委員，  
滝澤委員，田村委員，中島委員，皆川委員，渡辺委員  
事務局 新津地区公民館長，新津地区公民館主幹，佐藤，荏原，石田，堺  
小須戸地区公民館長，菘和

---

1 平成29年度事業報告について

（事務局） 平成29年度の事業を報告（資料1-1，1-2）

※新津地区公民館，小須戸地区公民館の順で

（皆川委員） 小須戸地区公民館のチャレンジダンスは，ひまわりクラブを対象としているということであるが，各小学校の児童ではなく，ひまわりクラブに限定した理由は何か。

（事務局） この講座は毎年長期休暇に実施しているものです。この期間ひまわりクラブに通う児童が非常に多くいるので，ひまわりクラブと連携して1日のびのびと体を動かす機会を設ける目的で実施している。

（中島委員） 今ほどの説明の中に「小須戸音頭」というものが出てきたが，初めて知った。保存会のようなものがあって，伝統継承活動を行っているのか。

（事務局） 昔から小須戸には「小須戸甚句」と「小須戸音頭」があったが，「小須戸甚句」は継承されてきたが，「小須戸音頭」は一旦途切れていて，最近復活した。まだ，運動会などで踊られるところまで広まってはいない。

（渡辺委員） 年々，学校や地域コミュニティとの連携事業が増えていると感じている。

（事務局） 教育ビジョンで掲げられている「学・社・民の融合による教育の推進」に基づいて，学びを通じた地域の絆づくりや地域の教育力向上を推進している。その中で，学校の児童を地域が育て，地域で育てる方を公民館が育てるといった活動を進めている。

（滝澤委員） 地域の人が学び，そこで学んだ地域の人が子どもたちを指導するという流れがしっかりできている。子どもたちが親や学校からだけではなく，地域の人から学ぶということは大事な機会となる。引き続き取り組んでいただきたい。

（事務局） 学校と地域を結ぶ活動をするにあたって，各学校に配置されている地域教育コーディネーターの存在が非常に大きい。今後も地域教育コーディネーターと連携して，学校と地域をつなげていきたい。

（川瀬委員） 新津地区公民館のプレママ学級「命の授業」が参加者不足により中止になった理由をもう少し詳しくお聞かせいただきたい。

(事務局) 2月に新関小学校で開催する予定だったが、大雪の影響で参加予定の妊婦にきていただくことが難しくなり、止むを得ず中止とした。

(渡辺委員) 「あきは日本語教室連携事業」に関わっている外国の方は、どちらの方が多いのか。

(事務局) 主に中国といったアジア圏の方が多いようである。こちらの事業は、公民館共催で、クリスマス会などを行っているものである。普段は、この教室は公民館で外国人の生活相談や困りごと相談といった活動をされている。

(事務局) 事業評価シートについて説明(資料1-3, 1-4)

(滝澤委員) 非常に細かく事業評価をされており、また改善点などが明記されていることは素晴らしいと感じている。この評価シートの下段の方に館長評価があり、その中でA~Dの評価欄に数値が示されているが、これはどういう数値なのか。

(事務局) それぞれA~D評価となった事業の数である。例えば、「1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業」では、スクールコンサートをはじめとした7事業に取り組み、全てB評価だったということである。ちなみにAは事業拡大、Bは現行どおり(見直し含む)、Cは事業縮小、Dは事業廃止という4段階の評価となっている。

(川瀬委員) 評価項目によっては、受講者にアンケートを取らないと分からないところがあると思うが、アンケートを取っているのか。

(事務局) 全ての事業ではないが、アンケートを取って判断している。

(川瀬委員) 受講者の実費負担について、適切であったかどうかという項目はこの評価シートにはあるか。

(事務局) 現在の評価シートで実費負担が適切であったかどうかの項目はない。ただ、受講者の費用負担という意味では、公民館全体の課題として現在検討中である。

(渡辺委員) 最終的な意見の集約は議長と副議長でまとめるということによろしいか。

(委員各位) 了承

## 2 平成30年度公民館の基本方針について

(事務局) 「平成30年度 新潟市公民館事業の基本方針」について説明(資料2)

## 3 平成30年度事業計画について

(事務局) 平成30年度事業計画について説明(資料3-1, 3-2)

※新津地区公民館、小須戸地区公民館の順で

(川瀬委員) コミュニティ防災学習会の内容を詳しく聞かせていただきたい。

(滝澤委員) 阿賀小学校で行なった事業である。二部構成となっており、第一部は地域の方や小学5・6年生を対象に避難指示や避難勧告などの情報に対してどのような意識レベルで対応していかなければならないかという講

義あり，第二部では地域の方と児童が一緒になったグループに分かれ、ワークショップ形式で住んでいる地区の避難所などを確認して共通理解を深めたというものである。

**【配布資料】**

- ・資料１－１ 平成２９年度 事業報告（新津地区公民館）
- ・資料１－２ 平成２９年度 事業報告（小須戸地区公民館）
- ・資料１－３ 平成２９年度 事業評価シート（新津地区公民館）
- ・資料１－４ 平成２９年度 事業評価シート（小須戸地区公民館）
- ・資料２ 平成３０年度 新潟市公民館事業の基本方針
- ・資料３－１ 平成３０年度 事業計画（新津地区公民館）
- ・資料３－２ 平成３０年度 事業計画（小須戸地区公民館）